



「チームラボ 幽谷隠田跡」を贅沢に味わう

## ☆ グランピング体験へ

# 五浦幽谷隠田跡温泉

HIDDEN TRACES OF RICE TERRACES HOT SPRING-IZURA

『チームラボ 幽谷隠田跡』と『五浦 幽谷隠田跡温泉』は、「アートと泊まる」が見事に融合した新しいスポットです。ここ北茨城で心にも脳にも刺激をうける自然の美しさと最先端の技術が織りなす幻想的な空間を体験できます。本誌前号で第一弾「チームラボ 幽谷隠田跡」の内覧会をご紹介、第2弾では「五浦 幽谷隠田跡温泉」のグランピングを仲良し親子で体験させていただきました！



「オープンからわずか5か月で数多くのメディアに次々と取り上げられ、全国的な注目を集めました。テレビやWebメディアへの露出に加え、Googleの検索ランキングで「北茨城 チームラボ」が茨城県内1位になるなど、圧倒的な反響にお客様の注目度の高さを実感しています」と手応えを語る山本さん。今後はインバウンド対策に、より一層力を入れたと考えているそう。「チームラボは海外での知名度も高く、外国人観光客にとっても魅力ある場所です。また、茨城県内にとどまらず、全国的な認知を広げていくための広報活動も強化していきます。」とこれからの展開にも注目です。

「オープンからわずか5か月で数多くのメディアに次々と取り上げられ、全国的な注目を集めました。テレビやWebメディアへの露出に加え、Googleの検索ランキングで「北茨城 チームラボ」が茨城県内1位になるなど、圧倒的な反響にお客様の注目度の高さを実感しています」と手応えを語る山本さん。今後はインバウンド対策に、より一層力を入れたと考えているそう。「チームラボは海外での知名度も高く、外国人観光客にとっても魅力ある場所です。また、全国的な認知を広げていくための広報活動も強化していきます。」とこれからの展開にも注目です。

### 地域から、全国、そして世界へ

#### コテージと《天地無分別》

宿泊者だけが体験できる特別な空間として、コテージの2階には《天地無分別》という作品が設置されています。床に寝転ぶと天井と床の境界が消え、身体ごと作品に包まれるような没入感が味わえます。「特別な体験だった」と宿泊客から高評価を頂いています。



#### アメニティも洗練されたデザイン

歯ブラシ / ヘアブラシ / コットンセット / 室内用スリッパ。エコバックもロゴがデザインされているこだわりが。



株式会社 創輝 代表取締役  
酒井 喜則さん

「故きを温ねて新しきを創る」をコンセプトに、温泉・食・自然・アートが融合する体験を目指し、チームラボのアートの力を原動力に、この地から新たな地方創生の流れを育てたい。〈お披露目会にて〉



#### 森の中に行む、2棟のコテージと20張のグランピングテント

森の谷にある、自然と一体化して過ごせるグランピング。テントは、谷の起伏を生かしながら、最低限の水平面をデッキで用意し、その上に建てられています。夜になると、アートになった森に包まれ、森の中のアート作品を体験することができます。アートの森と一体となったグランピングです。



北茨城の海の幸をふんだんに使った新鮮な素材が楽しめるのが最高です！ BBQグリルが備え付けられているので、自分たちで調理しながら美味しい食事を楽しむことができました。楽しい時間を過ごせて、大満足！ボリュームも満点で私たちには食べきれないほどでした。



**グリル【肉】**  
 ・特選牛ステーキ  
 ・ハーブチキングリル  
 ・ソーセージ  
**グリル【海鮮】**  
 ・ホタテ貝  
 ・大エビ  
 ・イカの炭焼き  
**グリル【野菜】**  
 ・パプリカ  
 ・ズッキーニ  
 ・アスパラ  
 ・しいたけ  
 茨城産  
 紅はるかのパプリケ

**【BBQメニュー】**  
 五浦園クリームチーズ  
 朝摘みサラダ  
 ベルメロフライヤース  
 パゲット  
 酢のバस्ता

※メニューの内容は季節によって変更になる場合がございます。



## 地域と繋がる 唯一無二の宿づくり

「地域の皆さんと力を合わせて、北茨城、そして茨城県全体の観光を盛り上げていくことが、私たちの願いであり、目標です。」と語る山本さんの言葉からは、地域の未来を見据える真摯な思いが伝わってきました。観光を「点」ではなく、「面」で捉える取り組みが、ここ北茨城から着実に広がっています。その一つの試みとしてグランピング施設の食事は、北茨城市内で人気のレストラン「マルサーラ」のシェフとのコラボレーションによって提供されています。

## 北茨城の「食」の魅力を伝える 地元レストランとの コラボも大好評。

旬の地元野菜や新鮮な海産物をふんだんに使った料理は、「おしゃれで美味しい」と好評。宿泊者からは「朝食まで美味しい」と驚きの声上がるほどです。施設での食事を通して、「北茨城にはこんなに美味しいものがある」という発見があり、それが地域全体への関心にもつながっています。食を通じて地域の魅力を発信するという意味でも、地元レストランとの連携は大きな役割を果たしています。



株式会社 創輝 専務取締役  
山本 和明さん

最初は、地域でこの宿泊施設を紹介することで、競合になるのでは…と少し心配していたんです。でも、実際にやってみると、まったくそんなことはありませんでした。



### キャンパー憧れのバナ Heim テント

北茨城発信の広々とした大型コットンテントは遠くからの眺めも美しく映えています。室内は天井が高く多数の小窓があるので、通気性に優れ、開放感のある大きなリビングルームのようなお部屋。ミッドガルドテント+ヴィムルテントの2タイプ用意されています。

アートに包まれた

幻想の森で迎える特別な一夜

夕暮れとともに、北茨城の夜の森が「チームラボ 幽谷隠田跡」に。グランピング施設にも聞こえてくる作品の音が、期待感をいっそう高めます。宿泊者専用の入口から自由にアクセスできるこの場所は、私たちを森の奥深くへと誘います。約1時間、起伏のある山道を歩くことで緊張感と期待感が交錯し、さまざまな世界に没入していく体験が

増幅されていきます。森の中に描かれる様々な作品は、自然と呼応しながら浮かび上がり、森そのものが広大なミュージアムに。やがてたどり着く作品は、《隠田跡》。作品のすぐ近くには露天風呂があり、作品を体験しながらお風呂を楽しむことができます。源泉かけ流しの温泉が注がれ、湯けむりまでがチームラボのアート作品を彩る不思議な空間です。幽玄の光に包まれながら、幻想的な空間での入浴体験はまさに至福の贅沢。広報宣伝部の鈴木星空さん

はInstagramの投稿も担当されていて「ここから木々が紫とピンクに染まる景色が絶対おすすです。」とガイドしていただきました。四季や時の流れの中で、体験してきたからこそ感じられる世界観に、思わず惹きつけられました。温泉に浸かりながら眺める景色は、まさに非日常の極み。澄んだ空気の中、満天の星空、木々のざわめきが織りなす夜のひとときは、ここでしか出会えない特別な「泊まれるアート」です。



露天風呂

作品が放つ光が周囲の気配に呼応し、静かに脈打つように変化していく。光はただ照らすのではなく、まるで生きているように息づき、湯けむりや木々と重なりながら空間までもが動き出す。この露天風呂は、アートの中でくつろぐという新しい感動を体験できる、唯一無二の場所です。スマートフォンでの撮影もOKなので、家族や友達との思い出の一枚を残すことができます。男女混浴、水着の着用をお願いします。



水鏡にランプが浮かぶ《隠田跡》

人の動きに反応して光の強弱が変化する《隠田跡》。《隠田跡の水鏡の道》を歩くと、道しるべのように一歩先が明るくなり、幻想的な光の世界へと誘います。ランプの形はよく見ると全部違っているのに感動。



《タブノキに宿る呼応する宇宙》  
自然とともにあるアートそのもの。手を伸ばすと光の色が応えるように変わり生命体と出会ったような感動を覚えます。



棚田跡の幻想的な風景

棚田の斜面に浮かび上がる無数の光が、夜の森に静かに広がっていく。風や音、空気のすべてが作品の一部のように感じられるこの場所では、ただ眺めているだけで心が満ちていきます。



PRESENT  
読者プレゼント

— 五浦 幽谷隠田跡温泉 —  
「チームラボ 幽谷隠田跡」ご招待券ペアチケットを2組様へプレゼント! ▶ 詳しくは10ページへ

五浦 幽谷隠田跡温泉へ  
行ってきました  
動画レポート▶





### 朝食

朝食は夕食の片付けの時に冷蔵庫にセットしておいてくれます。自分たちのペースで食べられるのもうれしいですね。参鶏湯とピクルス、ヨーグルト。参鶏湯は鳥のスープが濃厚で美味しかったです！



### 内湯

温泉は15時のチェックインから24時まで、朝は7時から9時まで利用できます。男女別の内湯には大浴場とシャワーブースを完備。温泉は、震災後使われなくなっていた源泉を再活用した、源泉かけ流しの本格的なもの。ナトリウム・カルシウム塩化物泉で、殺菌効果が高く、冷え性や傷にも良いとされています。



### 一つひとつがお洒落なアメニティ

アメニティブランド『NATURE&CO (ネイチャーアンドコー)』を採用。ブランドコンセプトは、「BOTANICAL POWER～植物のやさしさと効果の両立～」全アイテムに植物由来の成分を配合し、植物のチカラで、肌や髪、心をいたわる設計です。



### 内湯と外湯を結ぶ入口

宿泊者だけに開かれた朝と夜の体験。朝霧に包まれ、夜風にそよぐ温泉が心に深く刻まれるひとときを届けます。



チームラボの作品を楽しみむ日帰り客の中には「泊まりたいけれど、グランピングはちよつと…」という声も。そこで山本さんは、地域の宿泊施設と連携し、「チームラボ 幽谷隠田跡」入場チケット付き宿泊プランを企画。「湯かっぱ」まるみつ旅館「五浦観光ホテル」との連携が進み、チケット販売も行われています。作品とともに地元の人々との交流や、充実した特別な体験を提供する取り組みです。さらに美術館やカヤック、釣りなどのアクティビティとの連携も進行中で、昼の過ごし方の幅も大きく広がっています。「本物を求める人の期待に応えたい」と語る山本さん。五浦 幽谷隠田跡温泉は、訪れるたびに新たな発見がある場所として、地域全体で非常体験を高めることを目指しています。

### 五浦 幽谷隠田跡温泉 (いづらゆうこくおんでんあとおんせん)

北茨城市大津町 2132 TEL. 0293-24-5251

[部屋数] 全 22 棟

[宿泊費] 1泊1名 25,300円～(2食付き)

テント内も含め Wi-Fi、電源、アメニティ完備。23時からはサイレントタイム。明かりは最小限にして静かな森の夜を楽しむ。

公式ウェブサイト <https://izurahotspring.com/>

最新のお知らせ Instagram をチェック <https://www.instagram.com/izurahotspring/>

### チームラボ 幽谷隠田跡 (ゆうこくおんでんあと)

オンラインチケットで購入

期間限定  
温泉利用付き  
オンラインチケットも販売中!

\*事前日時指定予約制。

\*料金変動制を導入しています。

\*現地での購入の場合、事前予約価格に+200円となります。

\*前売券が売り切れた場合、現地での当日券の販売はございません。

公式ウェブサイト <https://www.teamlab.art/jp/e/izura/>



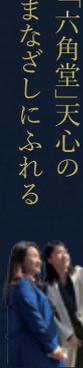
広報宣伝部  
鈴木 星空さん

昼と夜では全く違う景色になります。棚田の水に反射する光のアート作品もまた幻想的です。ゆっくりと楽しんでいただきたいです。インスタもぜひチェックして下さいと嬉しいですよ！

## 六角堂 (茨城大学五浦美術文化研究所)



「六角堂」天心のまなざしにふれる  
美術館を訪れた後は、天心が愛した「六角堂」へ。1903年、五浦の海に心を打たれた彼は、断崖に六角形の建物を建て、夏はここで創作。日本美術院も五浦に移され、横山大観、菱田春草、下村観山らが家族と共に移住。多くの作品が生まれ、近代美術の歴史に大きな足跡を残しました。天心が暮らした登録有形文化財「天心邸」も敷地内にあります。



「変化こそ唯一の永遠である」という天心の言葉は、私たちにも新しい視点を与えてくれます。チームラボの作品と重なるような、過去と未来をつなぐメッセージに感じられるのが不思議です。

## 茨城県天心記念五浦美術館

### 岡倉天心と出会う旅へ

#### — 美術を愛した情熱の人

明治時代、日本の美術を世界へと伝えた岡倉天心(1863-1913)をご存じですか？

急速に西洋化が進む中、彼は日本の伝統美術の価値を信じ、さまざまな国を巡ってその魅力を伝えました。「茨城県天心記念五浦美術館」には、彼の書齋や自ら設計した船の復元、名著「茶の本」をはじめ、天心の思想や人生観を物語る貴重な資料が展示されています。横山大観や下村観山など、彼のもとで活躍した画家たちの作品も必見です。

### 岡倉天心墓地

#### 天心の眠る場所も、静かに心をつ

六角堂の近くには、50歳で亡くなり東京の染井墓地に埋葬された彼の遺志を汲み、分骨された土饅頭型の簡素な墓があります。草に包まれ自然と調和するその姿は、彼の美意識そのものようです。岡倉天心が大切に「日本の美」と向き合える五浦の地。自然の中で、芸術や思想にふれるひとときを、ぜひ体感してみてください。



六角堂 (茨城大学五浦美術文化研究所) 北茨城市大津町五浦 727-2

[料 金] 400円 (中学生以下は無料)

[定休日] 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日) [時間] 8:30-17:30 (4月~9月)

公式ウェブサイト <https://rokkakudo.izura.ibaraki.ac.jp/>

岡倉天心墓地 (北茨城市指定文化財) 保護管理:公益財団法人日本ナショナルトラスト

茨城県天心記念五浦美術館 北茨城市大津町椿 2083

岡倉天心記念室

[料 金] 一般 210円、満70歳以上 100円、高校生 140円、小中生 90円

[定休日] 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日休館) [時間] 9:30-17:00 ※入場は16時30分まで

公式ウェブサイト <https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>



PRESENT  
読者プレゼント

— 茨城県天心記念五浦美術館 —  
「再興第109回院展 茨城五浦展」をペア3組様・オリジナルマスキングテープを1名様へプレゼント!

詳しくは  
10ページへ